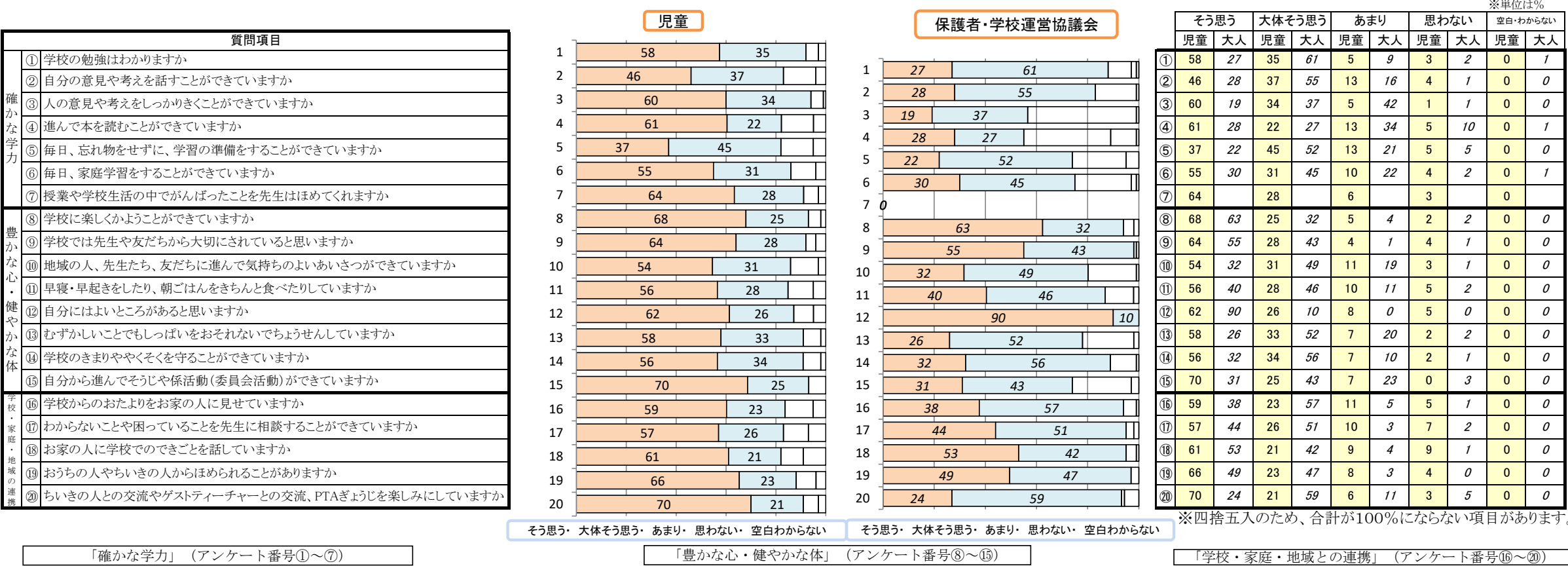


令和6年度学校評価(前期)結果について

平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。学校評価にたくさんの方からご回答をいただき、ありがとうございます。アンケートの結果とともに分析結果についてご報告します。
自由記述欄に書いていただいたことについては、真摯に受け止めさせていただきます。ありがとうございました。

学校教育目標 「自分の良さを生かし、夢に向かって、挑戦し続ける子どもの育成」 ～ひとりひとりが力を合わせ 明るくたくましく伸びていく 新林の子ども～
重点目標 ◎自分の良いところを知り、自信をもって行動する。 ◎あきらめずに最後までやりきる。



① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

アンケート①の「学校の勉強はわかるか」で93%の児童が「わかる・だいたいわかる」と答えています。前年同期と比べると若干の増加です。「わかる」だけで見てみると5%の増加です。テスト等、結果に出てきて子ども達自身もわかってきたと実感しているのかなと思います。アンケート④の「進んで本を読むか」は前年同期と比べると6%の下がっています。子ども達の興味のある本に出合えるよう教員や図書館司書からの紹介もしていきたいと思います。

② 話す・聞く力の向上

アンケート②の話すことは「できる・だいたいできる」が前年同期と比べ4%増加、アンケート③の聞くことは、ほぼ同じです。子ども達が少しずつ自信をもち、話すことができてきています。また、それに対してしっかりと聞こうとする子もたくさんいます。このような状況を維持しながら、話すことが苦手な子に対しては、どんな方法で発表ができるか、一人一人にあった方法を考えて実践していきたいと思います。

③ 家庭学習の習慣化

アンケート⑥の「家庭学習をすることができているか」の項目では、児童・保護者ともに少しずつ下がっています。新林学習や自主学習、タブレット端末などを用いて、やりたいと思える家庭学習を考えていきたいと思います。

① 自己肯定感の育成

アンケート②の「自分にはよいところがあると思うか」の項目は、「そう思う・大体そう思う」と答えた児童は88%でした。前年同期と比べると2%上がっています。自分や友達のいいところを見つける取組が成果を上げています。さらにこの取組を進め、もっとたくさんの自分のよいところ・好きなところに気づき、自分に自信がもてるようになってほしいと思います。

② 自己効力感の育成

アンケート③の「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦しているか」の項目は、昨年から高水準を保つことができています。失敗してもよい言葉がけができる子どもがさらに増えてきています。「挑戦することの素晴らしさ」「自分で考えて行動することの良さ」を、いろんな場面で伝えていき、児童の意欲向上につなげていきたいと思っています。

③ 楽しい学校

アンケート⑧の「学校に楽しく通うことができているか」の項目は、児童の94%が「そう思う・大体そう思う」と答えています。より学校を安心・安全な場所に、周りの人から認められる場所にしていきます。

④ 基本的生活習慣の確立

アンケート⑪の「早寝・早起き・朝ごはん」の項目を見ると、84%の児童が「できる・大体できている」と答えています。さわやか週間のアンケートでは、就寝時間が遅い子が増えてきています。就寝時間が遅いと、次の日の朝にも影響があり、子ども自身の生育にも影響がでえます。健全に大きくなってほしいと思っていますので今後も「早寝・早起き・朝ごはん」の声かけを続けていきます。

日頃から様々な取組に対し、地域やPTAの方々にご協力いただきありがとうございます。

① 家庭・地域と連携

アンケート⑨の「お家の人や地域の人からほめられることはあるか」では、「そう思う・大体そう思う」が89%でした保護者が家庭でいい声かけをしたり、ほめていただいたりしたおかげで、児童の自己肯定感がより高まってきています。アンケート⑯「おうちの人に学校での出来事を話しているか」では、保護者の95%が「そう思う・大体そう思う」でした。子どもの話をゆっくり聞く時間や環境を整えている家庭が多く、子ども達が意識をしなくても話すことができていますのではと思います。たくさんほめていただけるように、学校での出来事をお伝えしていきます。

② あいさつ

アンケート⑩のあいさつについては、常に高水準で推移できています。見守り隊などの地域の方、保護者の方の優しい声掛けがたくさんあることで児童が安心してあいさつできると思います。引き続きよろしく願いいたします。